

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	2単位	学年(コース)	1年次必修保健
使用教科書	「現代高等保健体育」(大修館)				
副教材等	「現代高等保健体育ノート」(大修館)				

1 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 指導の重点

- ① 我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、現代社会における健康課題とその予防及び対策について理解できるようにする。
- ② 交通安全を含めた安全な社会づくりや心肺蘇生法などの応急手当についての理解を深め、実践できるようにする。

3 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
現代社会と健康、安全な社会生活とその活用について、個人だけでなく社会生活全般を総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身につけようとしている。	健康に関わる事象や健康情報などから、自分や社会の問題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択しようとしている。また、それらを他者に伝え、実践しようとしている。	自他の健康やそれを支える環境作りに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることにより、現在及び将来の生活を健康で明るく豊かなものにしようとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査の分析 ・ 授業中の取り組みの状況 ・ レポートなど提出物の内容の確認 などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査の分析 ・ 授業中の取り組みの状況 ・ レポートなど提出物の内容の確認 などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査の分析 ・ 授業中の取り組みの状況 ・ レポートなど提出物の内容の確認 などから評価します。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 授業中の取り組みの状況とは、観察などから行います。 レポートとは、ワークシートやプリントなどに加え、GoogleClassroomでのレポート提出などを含みます。		

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	オリエンテーション	プリント	・ 保健授業の意義や心構えや注意事項、評価方法などの説明	1	

		<p>て説明できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
9	喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙者やその周辺の人に起こる害について説明できる ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
10	飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
11	薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる ・薬物乱用のための個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
12	精神疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の例をあげ、発病の要因と主な症状について説明できる ・現代社会における精神保健の課題について例をあげて説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
13	精神疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を予防する方法について説明できる ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
14	精神疾患からの回復	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>
15	現代の感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力などを含めて説明できる ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる 	<p>授業中の発言や取り組みの観察</p> <p>ノートの記入状況</p> <p>考査</p> <p>a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認</p>

	<p>16 感染症の予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる ・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる 	<p>a, b, c 提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査</p>
	<p>17 性感染症・エイズとその予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症、エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる ・性感染症、エイズの予防と対策について個人と社会に分けて例をあげることができる 	<p>a, b, c 提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査</p>
	<p>18 健康に関する意思決定・行動選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定、行動選択に影響を与える要因について説明できる ・健康に関する適切な意思決定、行動選択の際の工夫について説明できる 	<p>a, b, c 提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査</p>
	<p>19 健康に関する環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる 	<p>a, b, c 提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p>

1 事故の現状と発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の実態と被害の実態について説明できる ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる 	8	提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c
2 安全な社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる 		提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c
3 交通における安全	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる 		提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c
4 応急手当の意義とその基本	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義について説明できる ・傷病者を発見したときに、確認、観察するポイントをあげることができる 		提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c
5 日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる ・実際に日常的なけがや熱中症の応急手当ができる 		提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c
6 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる ・実際に心肺蘇生法を行うことができる 		提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c

計 35時間 (50分授業)

6 課題・提出物等

- ・考査を前期と後期にそれぞれ実施します。
- ・評価をするため、定期的にノートを回収し確認を行います。
- ・単元によっては、ワークシートやプリントを配付します。

7 担当者からの一言

保健の授業で学んだことを、日常生活や社会生活の中で正しい知識・技能と思考・判断のもと、実践しましょう。生涯を通じて自他の健康の保持増進など、明るく豊かな活気ある生活を営めることを期待しています。

(担当：志田 亮太)